


内容整理チーム

R6.2.13 内容整理チーム打ち合わせを受けて

チームメンバー：古橋、高江洲、蛭川、稲垣、美濃口

	1. 今年度の取り組み内容・成果	2. 次年度への引継ぎ事項	3. 他のチームから意見が欲しいこと
<p>私たちが目指す相談支援専門員の姿 Ver.9</p>	<p>【内容】ver8 に相談支援専門員を知らない人でも相談支援専門員を説明できるものを加え ver9 として作成する。ターゲットは特に行政職員とし「福祉に関わったことがない人」を想定。</p> <p>【成果】当チームメンバーが相談支援専門員についての100文字要約を作成。メンバー間で意見交換し、検討会へ共有。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度初任者研修もしくは令和7年現任研から使用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 別紙「行政向けイメージ(仮)」を基に、文中の「様々な障壁」について具体的事項をイラストや吹き出しでデザインする案。 当チームのメンバーそれぞれで特に「様々な障壁」について意見交換しデザインを具体化する。 ●障壁の具体例(障害問わず共通の事項) <ul style="list-style-type: none"> *地域で暮らしたいのに家がない *働きたいのに家で働くとヘルパーが使えない *結婚したい、出産したい、学校へ行きたいが止められてしまう。 *相談に行ったら事業所一覧を渡された 	<p>左記デザインのイメージに対する意見求む。</p> 
<p>補助教材</p>	<p>【内容】講義動画を個別動画配信やYouTubeにアップできるか検討。ちなみにYouTubeの使用は東京都の決済に時間を要す。</p> <p>【成果】対象者や対象者のニーズを想像しながら、意見交換。今年度演習指導者養成研修(以下、演指研)の際、FTで困難に感じる部分について「5Pics」「ニーズ整理表」等に意見が偏ることはなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ファシリテーター向け 以下例 <ul style="list-style-type: none"> 『5Pics』『ニーズ整理表』など一部のスキルを切り抜いて相談支援専門員向けの説明動画。 演指研1日目説明動画。FT説明会と行き来できると良い。 ●受講者向け 以下例 <ul style="list-style-type: none"> 実習1日目で作成する課題についての説明動画 	<ul style="list-style-type: none"> まずは令和6年度演指研の受講者であるFTに提供する。 次年度演指研に関してはファシリテーション研修と合わせて一つの研修として実施予定。 演指研1日目から初任者研修FT説明会までの間の検討。補助教材を活用する案。 令和5年度の初任者研修FT説明会にチャプターを付けてYouTube、Teams等での提供案。YouTubeでは再生数で視聴者の関心を推測する。 	<p>左記見直しについて意見求む</p>

<p>相談支援従事者研修の新事例</p>	<p>【内容】令和5年度初任者研修から新事例作成に取り組む。 【成果】『鈴木陽介さん』という新事例を作成。令和5年度初任者研修から変更し実施。検討会へ報告し、否定的な意見無し。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も「鈴木陽介さん」新事例を使用する。 ・基本情報グラフィックのへの追記（蛭川氏案作成）。事例から計画作成までの流れ、好きなことへの取り組み、性格などについて。 ・初任者研修の担当者会議部分についてシナリオ微調整や撮影の必要性について要検討。 ・週間計画表の作成について説明が必要になる場面あり FT 側に説明するための根拠の準備について要検討。 	<p>左記見通しについて意見求む</p>
----------------------	---	---	----------------------



「当たり前」を当たり前



日本では行政裁量による措置制度の歴史から、障害がある方の自己決定の機会がありませんでした。障害者権利条約の批准を経て、障害があっても「自分の住みたい地域で自分らしい暮らし方・生き方」を選択する権利が見直されました。相談支援専門員は、選択された「暮らし」や「生き方」が実現できるよう伴走する存在として創設されました。

障害がある方が日常生活又は社会生活で受ける様々な制限は、「個人」の心身機能の障害のみに起因するのではなく、「社会」における様々な障壁と相対することによって生じます。相談支援専門員は伴走することで見える障壁の解決に向けて、行政・地域・住民をつなぎ官民共同で取り組みます。

相談支援専門員は利用者一人ひとりのニーズは地域のニーズであることを知っています。

各自治体で活躍している相談支援専門員を地域資源としてご活用ください。



人材育成チーム

チームメンバー名（ 藤田・神作・安井・芝・横田 ）

報告内容

1 今年度の取り組み内容・成果

- ① 【自治体、拠点機関実習対応者向けの実習説明会の検討と実施】
 - 初任研実習説明会
 - 地域実習の円滑な実施に向けて、窓口となる区市町村職員及び、拠点機関等（実習対応者）を対象に研修の目的や実習の意図を理解していただけるよう「実習受け入れガイド」を作成すると共に、ツールの使い方を含めた内容の説明会を実施した。
 - 現任研実習説明会
 - 傾聴型 SV の説明を丁寧に行い、実習対応の具体的なイメージを持てるようデモンストレーションを実施。デモンストレーション後はシナリオに沿って傾聴型 SV のポイントを解説し、実習対応時に活用してもらえるように組み立てた。
 - 説明会動画のインターネット配信
 - 説明会に参加できなかった実習対応者や繰り返し復習を希望する者に向けて説明会の録画動画をインターネットで配信した。
 - 主任相談支援専門員像の要件と人物像の検討
 - 主任研チームの提案が検討会にて承認されたため、初任研実習説明会にて説明した。主任相談支援専門員の推薦要件について示せたことは良かった。また、この提案により各自治体の考え方に少し変化が見られた。
 - 現任研修の地域実習に対するアンケートの検討と実施
 - 地域実習における自治体及び実習担当者の課題が見えてきた。今後、どのように改善していくか検討していきたい。
 - 研修別チームとの連携
 - 初任チームに横田委員と芝委員を配置。現任チームには神作委員と藤田を配置。また、地域で人材を育成してもらうための仕組みを構築するために、主任研修と専門コース別研修1のチームに安井委員を、専門コース別研修2に芝委員を配置した。

2 次年度への引継ぎ事項

- ① 【自治体・拠点機関実習対応者向け実習説明会の検討】
 - 実習説明会の改善
 - 研修の一連の流れや地域実習における SV の役割を明確に説明し、参加者にわかりやすく伝える。
 - 自立支援協議会、または類似の協議会への参加については参加時の視点、意義を明確化する。
 - 自治体担当者には地域の相談体制について 3 層構造の具体例を出してもらい、それぞれがどのような役割を持って動いているか、また、その中での課題など説明をお願いする。不明点に関しても質問を受け付

けられるよう対応をお願いします。

- 実習説明会にて自治体担当者の対応及び受講者、相談支援専門員とのやり取りについて好事例を紹介する。
- 説明会の内容・動画については2～3年に1度の更新を予定する。

● 参加者への周知について

- 自治体担当者や初めて担当する実習対応者への周知を強化し、参加を促進する。
- 説明会に参加されない実習対応者に対して、研修内容の修正、追加事項があった場合には自治体担当者を通して周知を図る。
- 初任・現任研のカリキュラム及び、研修内容が大きく変わらない限り、これまで複数回参加した実習対応者は動画視聴のみでも良いものとする。

* 説明会への参加に関する課題

- 10自治体がこれまで一度も参加していないため、事務局から自治体と実習対応者で参加してもらえよう声掛けをしていく。
- 出欠確認の際、出席できない場合はその理由や昨年はどのように対応したかなど確認できる項目を作る。

● 地域実習 SV のデモンストレーションについて

- 初任研の説明会を目標に理解の乏しい受講者（初任者）Ver.の SV シナリオを作成し、デモ動画を作る。（7月の完成を目指す）

● アンケートについて

- 実習対応者の現状をより詳細に把握するため、「困ったこと・うまくいかなかったこと」を質問項目に追加する。

② 【各地域での人材育成のための仕組みづくりについての検討】

● 人材育成を担える人材をいかに育てるか

- 主任研修修了者が FT や検討委員などに参画できるような「次」を作る方向性を出していきたい。
- 地域実習を担当する相談支援専門員が演習指導者養成研修を受講し、FT として研修に関わってもらえるような仕組みを演指研チームと連携して検討していきたい。

3 他のチームから意見が欲しいこと

① 【初任研・現任研における地域実習について】

● 実習対応者の SV の質の均一化が図れていない課題

- 実習対応者へのフォローの仕組みとして、初任・現任研の成果物のフィードバック、SV 対応時の伴走などを検討していたが、個別のフォローに関して人材育成チームとして現段階ではできないため、まずは実習説明会に参加してもらうことを優先に考えている。他に良いアイデアがあればご意見いただきたい。